

栄養豊富な「菊芋」をもっと身近に

株式会社 村木組 農事部 しらかば農園

〒018-5421 秋田県鹿角市十和田大湯字柏木新田11-15
TEL 0186-37-4181 FAX 0186-37-3287 / <http://www.sirakaba.co.jp/>



「病院や介護の場でも菊芋の魅力を知ってほしい」と兎澤さん

身体にいいものを、毎日の食卓に届けたい



菊芋ヨーグルトの開発

鹿角市にある株式会社村木組の農事部「しらかば農園」では、十和田高原に所有する広大な農場で野菜の栽培を行い、生産加工品のネット販売を手がけている。

同社では2011年から菊芋の生産を開始。食物繊維が豊富な菊芋は、体内の脂肪を吸収し、血糖値を抑える効果を持つ「スーパーフード」とも呼ばれる機能性食品だ。しかし、生菊芋の出荷期間は冬期のみ。「健康のために通年で菊芋を食べたい」という顧客の要望に応え、新鮮な菊芋の栄養成分を封じ込めた菊芋ペーストを商品化したが、認知度が低く、一部のみにしか支持されていないこと、ペーストの使い方がわからない人が多いことが悩みの種だった。

そこでセンターに相談を持ちかけ、毎日食べられる菊芋ヨーグルトを商品化することになった。同社では「あきた農商工応援ファンド」を活用し、県内でヨーグルトを製造する企業とのマッチングを実施。湯沢市の栗駒フーズ株式会社との連携が決まった。秋田県総合食品研究センターも加わり、菊芋の特徴となるフラクトオリゴ糖の配合量の分析と調製を繰り返した。結果、飲むタイプ・食べるタイプ、風味と菊芋の濃厚な味わいを感じられる2種類の菊芋ヨーグルトが完成し、この春から販売が開始される。

菊芋の認知度アップへつなげたい

同社では「菊芋ヨーグルト」のパッケージデザイン開発でもセンターの専門家派遣も活用。今後は「菊芋」のロゴを統一させ、菊芋ペーストや菊芋チップスなど、他の加工品も新デザインで展開していく予定だ。

「しらかば農園では、これまで自社の通信販売だけの、ある意味閉ざされたフィールドで生産販売を行ってきました。センターを通じて、県内のさまざまな業者の方と知り合う機会が増えたり、展示会に出展したり、外とつながる場が広がったことが私たちにとっての大きな成果。今後は菊芋ヨーグルトを筆頭に、秋田県産菊芋の認知度アップと市場の拡大に、さらに力を入れていきます」。



菊芋以外にも多数の農産物を取り扱う。主力商品の保存料を一切使わない無添加飲料「野菜スープ」も好評。(写真右)

事業概要

あきた農商工応援ファンド事業

農林漁業者と中小企業者が連携して取り組む新商品開発等を助成します。

お問い合わせ

あきた企業活性化センター / 設備・研究推進課
TEL.018-860-5702